



ようらん  
揺籃

揺籃（ようらん）とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神（魂）をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

■ 6月21日 学年の日

1年生は恒例の虫倉山登山、2年生は無言館～象山地下壕跡見学、3年生はディズニーリゾート研修に出かけました。

不動滝コースで標高 1378 メートルを目指します。

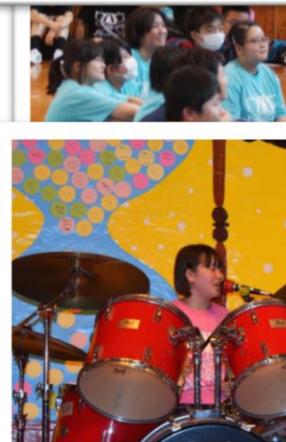
戦争に駆り出された人々の気持ちを学びます。

学校？勉強？今日は魔法の国の仲間です。



7月5.6日 西楼祭

第54回西楼祭のテーマは **fighter～今は今から過去になる～** 「私たちは今を楽しみながらも、かけがえないこの瞬間に本気で向き合う fighter だ」というメッセージです。1日目は運動会、2日目は全員参加の「脱出ゲーム」と校内祭です。音楽選択者による合唱や授業の成果発表、有志の展示作品、熱いステージパフォーマンスとそれぞれの場面に中条校らしさがあふれ、生徒や先生方、保護者の皆さんのあたたかさが伝わる2日間となりました。



■ 7月15日 中条でカブトムシをとろう！

**中条地区の球技大会**は、あいにくの雨の影響で、1年生のソフトボールチームの参加がなりませんでした。翌日の**カブトムシ捕獲体験イベント**は、県内外から 320 組ほどの子供たちが集まりました。人が集まる中条校の生徒の出番です。今年は 8 名がスタッフとして実行委員会のお手伝いをかってでました。



■ 7月18日 保健講話

長野赤十字病院産婦人科 山本かおり先生のお話

製薬会社や健康関連企業が社会貢献活動として行っている「かがやきスクール」（女性の健康教育推進プロジェクト）を県内の学校で初めて開催しました。

【生徒の感想】

- ・アドバイスをだれからもらえばいいか困っていました。産婦人科は身近なお医者さんだとわかってよかった。
- ・女性として一生をどう生きるか考えることが大事なことだと思った。
- ・困っていることをちゃんと伝えることが大切で、今はいろんな人がいるんだと思った。



■ 7月17日 長野西高校中条校 学校評議員会

委員の皆様から「積極的に学び、進路を切り開ける人づくり」や第二期高校再編にかかわり「すべての高校が独自性を打ち出す中、中条校の魅力を一層高めて生徒がいきいきと過ごす姿をさらに発信してほしい」などの声が寄せられました。